

● 韓 国

マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が7月23日に公表した2020年第2四半期の成長率（速報値）は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受け、季節調整値で前期比▲3.3%となり、2四半期連続でマイナスを記録した。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は同1.3%で前期の同▲4.4%からプラスに転じた。固定資本形成は同▲1.1%で前期の同0.5%からマイナスに転じた。その内訳では建設投資は同▲1.3%で前期の同0.5%からマイナスに転じた。設備投資は同▲2.9%で前期の同0.2%からマイナスに転じた。外需である財・サービスの輸出は、自動車、石油・石炭製品の輸出が低下して同▲16.6%となり、前期の同1.4%からマイナス幅が拡大した。一方で財・サービスの輸入も原油が減少し、同▲7.4%とマイナスになっている。

2020年第2四半期の鉱工業生産指数伸び率は季節調整値で前期比▲7.1%となり、前期の同0.1%からマイナスに転じた。月次では季節調整値で、2020年6月に前月比7.2%となっている。

2020年第2四半期の失業率は季節調整値で4.2%であった。月次では2020年6月に4.3%、7月は4.2%、8月は3.2%となっている。

2020年第2四半期の貿易収支（IMF

方式）は90億ドルの黒字で前期の150億ドルから低下している。また6月の貿易収支は59億ドルの黒字であった。

2020年第2四半期の対ドル為替レートは1ドル=1220ウォン、月次では2020年6月に同1208ウォン、7月に同1199ウォン、8月に同1186ウォンと推移している。

2020年第2四半期の消費者物価上昇率は前年同期比▲0.1%であった。月次では2020年6月に前年同月比0.2%、7月に同0.0%、8月に0.6%であった。2020年第2四半期の生産者物価上昇率は前年同期比▲1.5%であった。月次では2020年6月に前年同月比0.0%、7月に同0.3%と推移している。

2020年及び2021年の経済展望

韓国銀行は8月27日に経済見通しを発表した。これは内外の新型コロナウイルスの感染拡大による影響を織り込んで、前回（5月）の予測からさらに下方修正したものとなっている。

2020年の成長率は▲1.3%で、前回予測の▲0.2%から引き下げられている。これは2019年の2.0%を大きく下回る値である。また2021年の成長率は2.8%としている。2020年の成長率については、前半が前年同期比▲0.8%、年後半が同▲1.8%と予測し、年後半でのプラス成長への復帰を予測していた前回予測を大きく修正した。

2020年の成長率を需要項目別に見ると、内需はまず民間消費がコロナ禍の影響を直接的に受けて▲3.9%となり、2019年実績の1.7%からマイナスに転ずる。一方、設備投資は2.6%となり、2019年実績の▲7.5%からプラスに転ずる。建設投資は、住宅需要は引き続き低迷するが公共投資の拡大も見込まれるため▲0.7%となり、2019年実績の▲2.5%からマイナス幅が縮小する。輸出は海外のコロナ禍の影響を大きく受け▲4.5%となり、2019年実績の0.5%からマイナスに転ずるとしている。

2020年の失業率については4.1%で2019年の3.8%から上昇するとしている。雇用者数の変化は13万人の減少で2019年の30万人の増加から大きく縮小すると見込んでいる。2021年については、失業率は3.7%、雇用者数の増加は20万人としている。

一方、2020年の消費者物価上昇率は0.4%で、2019年の0.4%から横ばいと予測している。2021年については1.0%としている。

これらの予測は今後の内外の新型コロナウイルスの感染状況に左右されるものであり、韓国銀行はその収束あるいは感染拡大によって、それぞれの需要項目は大きく上下にぶれる可能性を留保している。

ERINA 調査研究部・主任研究員
中島朋義

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	19年 7-9月	10-12月	20年 1-3月	4-6月	20年 6月	7月	8月
実質国内総生産(%)	2.6	2.8	3.1	2.7	2.0	0.4	1.3	▲1.3	▲3.3	-	-	-
最終消費支出(%)	2.4	2.9	2.8	3.5	3.0	0.5	1.4	▲4.4	1.3	-	-	-
固定資本形成(%)	3.8	5.2	8.6	▲2.4	▲3.5	▲2.7	4.5	0.5	▲1.1	-	-	-
鉱工業生産指数(%)	▲0.3	2.2	2.5	1.5	▲0.1	1.9	1.1	0.1	▲7.1	7.2	-	-
失業率(%)	3.6	3.7	3.7	3.8	3.8	3.5	3.6	3.7	4.2	4.3	4.2	3.2
貿易収支(百万USDドル)	120,275	116,462	113,593	110,087	76,856	19,512	20,447	15,004	8,994	5,867	-	-
輸出(百万USDドル)	543,083	511,926	580,310	626,267	561,963	139,917	143,656	131,169	110,765	40,019	-	-
輸入(百万USDドル)	422,808	395,464	466,717	516,180	485,107	120,405	123,210	116,165	101,771	34,151	-	-
為替レート(ウォン/USDドル)	1,132	1,160	1,130	1,101	1,166	1,194	1,176	1,195	1,220	1,208	1,199	1,186
生産者物価(%)	▲4.0	▲1.8	3.5	1.9	0.0	▲0.6	0.0	0.4	▲1.5	0.0	0.3	-
消費者物価(%)	0.7	1.0	1.9	1.5	0.4	0.0	0.3	1.2	▲0.1	0.2	0.0	0.6
株価指数(1980.1.4:100)	1,961	2,026	2,467	2,041	2,198	2,063	2,198	1,717	2,108	2,108	2,249	2,326

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価は2010年基準、消費者物価は2015年基準
貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はf o b価格
(出所) 韓国銀行、統計庁他